

2 目標達成計画

事業所名：グループホーム さくらぎ

作成日：令和3年12月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。
また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員間の法人、施設の理念の理解とそれに沿った支援、各フロアでの理念、目標設定。 理念、目標に向かっての現実的支援の共通認識と日々の実践、支援の振り返りを繰り返していく事が課題かと思えます。	職員が支援目標を理解し、常に目標を意識して日々の支援にあたる。	各フロアで支援に対する具体的な目標を掲げ、毎月のフロア会議で振り返りを行い、職員間の支援目標に対する意識を高める。	6 か月
2	49	コロナ過でもあり、外出の制限が増え施設内で過ごされることが多く、入居者様が気分転換できる機会が少なくなっている。	外出の機会を増やし、入居者様の気分転換を図る。	毎月のレクリエーションに、ミニドライブを計画、公園ドライブでの出先場所での散歩を行う。	6 か月
3	52	日々の生活にメリハリがない。個々に変化のある毎日を過ごしてほしい。	生活に変化、楽しみを感じて頂けるよう、働きかける。	今年試みましたが、庭にテントを張りテーブルを置き、庭で外気浴と共にお茶を飲まれたりして過ごしていただく、外の様子を感じて頂くなどの働き掛けを行う。	12 か月
4	2	地域との連携が具体的なものとして見えてこない。	地域との連携を密に、災害時などの対応も地域の一員として担う。	災害時の連携については、町内会の集会への参加で具体的なものとしていく。 地域の子ども食堂への参加、高齢者介護相談への協力を行う。	6 か月
5	13	職員の教育に掛ける時間が限られている。	職員の人数配置に余裕を持ち、研修等への参加の機会を増やす。	研修等の情報を職員に回覧、希望の把握、受講の支援を行う。	6 か月